

平成19年度警察庁予算の概要

- 1 予算総額 260,507百万円
- （平成18年度予算額 259,415百万円
- 前年度予算額との比較 1,092百万円（0.4%）
- （人件費 1,845百万円（1.8%）
- 物件費 753百万円（0.5%）
- 2 主な内容
- (1) 治安再生のための総合対策の推進 17,556百万円
- ア 安全・安心なまちづくりの推進 ~子どもの安全・安心を中心に~ 5,504百万円
- 子どもを守る防犯ボランティア支援事業の推進
 - 街頭緊急通報システム（スーパー防犯灯）等の整備
 - 子ども等を守るための匿名通報モデル事業
 - 地域パトロール活動強化のための小型警ら車の増強整備
 - 振り込め詐欺等広域知能犯罪対策用資機材等の整備
 - 公的懸賞金制度の創設
- イ サイバー空間の安全確保の推進 3,040百万円
- サイバー犯罪対策用資機材の整備
 - 「ホットライン」業務の充実強化
 - 情報セキュリティ対策の推進
- ウ 被害者対策の推進 2,603百万円
- 「犯罪被害者等基本計画」に対応した各種施策の推進
 - 被害者保護のための車両の増強整備
- エ 科学技術を活用した捜査活動基盤の整備充実 6,409百万円
- 警察総合捜査情報システムの高度化
 - 都道府県警察間の組織犯罪情報共有基盤の確立に向けた取組み
 - DNA型鑑定資機材等の充実、携帯電話発信地表示システムの整備
- (2) 深刻化する組織犯罪への抜本的な対策の推進 9,123百万円
- FIU（資金情報機関）の移管及び犯罪収益流通防止対策の推進
 - 外国人生体情報システム（BICS）の整備
 - 自動車ナンバー自動読取システムの整備・拡充

- (3) テロの未然防止と緊急事態への対処態勢の強化 19,622百万円
- ・ 平成20年サミットに向けた警備対策資機材の整備充実
 - ・ 大規模災害対策用資機材の整備
 - ・ 情報収集・分析態勢の強化
- (4) 安全・快適な交通環境実現のための施策の推進 19,837百万円
- ・ アウトカム目標の達成に向けた交通安全施設等整備事業の推進
 - ・ 「プロファイル信号制御方式」等モデル事業の推進
- (5) 精強な第一線警察の構築 19,379百万円
- ア 人的基盤の充実強化 814百万円
- (ア) 地方警察官の増員 増員数 3,000人
- (イ) 国家公務員の増員 増員数 191人
- イ 装備資機材・警察施設の整備充実 18,565百万円
- ・ 改良型警棒、防刃衣等資機材の整備による現場執行力の強化
 - ・ 実戦的教養・訓練の充実
 - ・ 警察活動の拠点たる基盤施設の整備

組織改正

F I U 関連

【政令事項】

- ・ 長官官房審議官（犯罪収益関連対策担当：充て職）の新設
- ・ 刑事局組織犯罪対策部犯罪収益移転防止管理官の新設
- ・ 中国管区警察局広域調整部の廃止
- ・ 中国管区警察局総務監察部の総務監察・広域調整部への名称及び所掌事務変更

【府令事項】

- ・ 刑事局組織犯罪対策部国際連携対策官の新設
- ・ 刑事局組織犯罪対策部総括分析官の新設
- ・ 刑事局組織犯罪対策部薬物銃器対策課国際情報室の廃止

その他

【府令事項】

- ・ 交通局運転免許課外国人運転者対策官の新設

【国家公安委員会規則事項】

- ・ 警察大学校警察情報通信研究センター応用第三研究室の新設